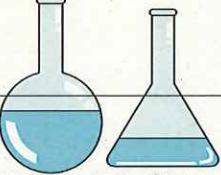


令和6年度 堀原のよい子の一日(学習のきまり)

水戸市立堀原小学校

授業の準備	<ul style="list-style-type: none"> 机の上に次の授業の教科書・ノート、筆記用具を出しておく。 (筆箱は机の中にしまっておく。) 休み時間にトイレをすませる。
始まり	<ul style="list-style-type: none"> 始まりの時刻を守る。始業前に着席し、静かに先生を待つ。 始まりの号令をかける。 日直「起立。姿勢をよくしましょう。これから〇時間目の授業を始めます。よろしくお願いします。」 全員「よろしくお願いします。」 礼。
発表(話す)	<ul style="list-style-type: none"> 手をあげるときは先生や友達がわかるように手をまっすぐにあげる。 名前をよばれたら、「はい」とはっきり返事をする。 先生や友達の方を見て、みんなに聞こえる声で最後まではっきりと話す。 (「です、ます」をはっきりと。) 〈話し方のきほん〉 <ul style="list-style-type: none"> わたしは、～だと思います。それは、～だからです。 (さんせいの時) わたしは、〇〇さんの意見にさんせいです。それは、～だからです。 (つけたし) わたしは、〇〇さんの意見につけたします。～だと悪いです。 それは、～だからです。 (はんたい) わたしは、〇〇さんの意見とはちがいます。～だと悪いです。 それは、～だからです。 <p>○発表は、聞く人がよくわかる声の大きさで話すようにする。</p>
聞く	<ul style="list-style-type: none"> 正しいしせいで、話す人の目を見て(体をむけて)話を聞く。 先生や友だちの話は最後まで聞く。終わるまで、話さない。 友達の話は、うなずきながら聞き、自分の意見をもつ。

読む	<ul style="list-style-type: none"> 聞く人がよくわかる声の大きさで読むようにする。 句読点に注意して読む。 間、速さ、強弱を考えながら読む。 家庭学習カードを使い、音読の練習をする。 	
書く	<ul style="list-style-type: none"> 正しいしせい(前かがみにならない)で、ていねいに書く。 鉛筆を正しく持って書く。 板書したことを分かりやすく整理し、後で振り返ったときに分かるノートにする。 書えたことが分かるように、できるだけ消しゴムを使わないで書くようにする。 筆箱(箱型か布製のもの、かざりのついていないもの)の中に必ず入れておくもの。 <ul style="list-style-type: none"> 鉛筆5本程度(低学年はBか2B、中高学年はBかHB)※家で削る。 ※バトル鉛筆や飾りがついたもの、鉛筆削りは持って来ない。 ・赤青鉛筆1本(赤鉛筆1本、青鉛筆1本でもよい。) ・消しゴム1個 ※ねり消しや香付きのものは持って来ない。 ・じょうぎ(透明でイラストのないもの・おりたたみは持って来ない) ・下敷き(無地) 	
学習用具の後片付け	<ul style="list-style-type: none"> 使ったものは、もとの場所に戻す。 (筆記用具・特別教室から持ち出したもの・図書資料など) 特別教室を使用した後は、必ずそうじや整頓をする。 	
授業の終わり	<ul style="list-style-type: none"> 終わりの号令をかける。 日直「起立。姿勢をよくしましょう。これで、〇時間目の授業を終わります。ありがとうございました。」 全員「ありがとうございました。」 礼。 次の時間の学習用具を準備する。 特別教室は、先生の指示にしたがって静かに移動する。廊下は右側を静かに歩く。 	
体育時の服そう	<ul style="list-style-type: none"> 体育の時は、体操服を着て、紅白帽をかぶる。 寒いときは、長袖上下を着用する(長袖の下着やスパッツを見せたりしない)。 脱いだものは、きちんとたたんで袋にしまい、決められた場所に片付ける。 運動靴とする。 	